

『新編西尾市史 資料編1 考古』を刊行

西尾市の歴史や文化、自然、美術、民俗などをさまざまな視点から明らかにする『新編西尾市史』を編さんしています。5月30日(木)に第1冊目として『資料編1 考古』を刊行します。今後、通史編、資料編、別編で合計14冊を刊行する予定です。

問 市史編さん室 ☎56・6660 / 岩瀬文庫内)

『新編西尾市史』

市史とは、市の歴史などをまとめた冊子です。西尾市では、約40年前に、旧『西尾市史』を刊行しました。その後、多くの歴史資料が発見され、研究が進展。また、西尾市と旧幡豆郡3町が合併し、新しい西尾市が誕生しました。

こうした新しい知見や発見を反映し、市域が広がった西尾市の歴史や文化、自然、美術、民俗などを次世代に伝えるため、平成25年に『新編西尾市史』の編さんが始まり、市内の歴史資料を整理・保存し、分かりやすくまとめることで、市民の皆さんに地域の由来や実情を伝えることを目指しています。

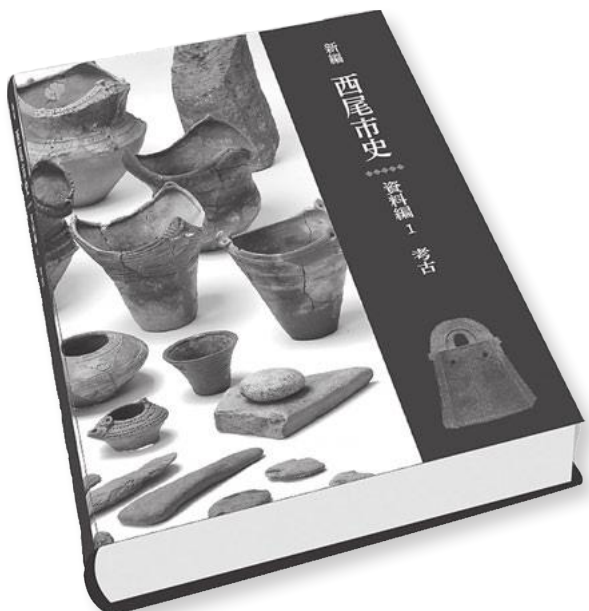
編さんの様子

現在、125人の専門委員が編さんを行っており、令和10年まで続きます。委員は大学教授や地元研究者などさまざま、独自に調査を進めています。また、部会と呼ばれる会議で資料の検討や各刊の内容の話し合いを重ね、市史を執筆します。部会は「考古」「古代・中世」「近世」「近・現代」「自然」「美術工芸・建造物」「民俗」「学芸・文化」の8つです。調査の対象は多岐にわたります。寺に行つて古文書を調べることやあれば、地域の伝統的な祭りを調べることもあります。

『資料編1 考古』

矢作古川流域に展開する沖積平野（おきせきへい）、東部に続く幡豆山地の山並み、北東から南西に延びる碧海台地、長い海岸線、そして黒壁集落の美しさから「三河湾の黒真珠」と称される佐久島。地形的変化に富んだ西尾には、旧石器時代以降たくさんの遺跡が築かれてきました。

こうした市内の主要な遺跡や古墳、出土した人骨などを解説し、古代の西尾の姿を紹介します。



三ノ山古墳(上羽角町)



考古部会長
加藤安信さん(高河原町)

高校の教員を務めた後、県文化財課に勤務。埋蔵文化財センター調査課長、調査センター所長、一色高校校長などを務める。新編西尾市史編集委員の他に西尾市文化財保護委員会委員、岡崎市文化財保護審議会委員、愛知県史専門委員などを務め、長年文化財の保護に尽力している



とうてい山古墳(東幡豆町)からの出土品

『資料編1 考古』は、西尾市史として初めてオールカラーで作成し、遺跡や遺物などの写真や図面を多く使っています。編集の段階で色彩のチェックや言葉の表現の統一に時間が掛かりましたが、ほぼ予定通りに刊行できてうれしく思っています。『考古』では、縄文時代から江戸時代までの市内の主要な370あまりの遺跡を取り上げ、遺跡の立地や調査履歴、発掘調査で発見された遺構や遺物、遺跡の歴史的な位置付けなどを簡潔にまとめています。個々の遺跡ごとに掲載していますが、読んでいくと、例えば三河湾沿岸部の大きな古墳が、吉良地区の正法寺古墳から岩場古墳、幡豆地区の中之郷古墳、とうてい山古墳、下山古墳へと

続き、首長墳の位置が移っていく様子が読み取れます。また、八ツ面山北部の古新田遺跡や志貴野遺跡などの遺跡の実態からは古代の「熊来郷」のムラの姿が浮かび上がってきます。さらに、特論として縄文時代人の特徴や葬制、埴輪や横穴式石室、古代の塩の生産などの問題をテーマを設けてまとめ、巻末では難しい考古学の言葉を解説しています。分かりやすく面白い内容になったと思います。ぜひご一読ください。

市史を読むと、住んでいる地域の歴史や文化を知ることができます。累積された時間軸と空間軸の交差点に立っている今の自分の立ち位置を確認することができ、ますます西尾を好きになるでしょう。

『新編西尾市史 資料編1 考古』の刊行を記念し、特別展を行います。「考古遺物の美と謎」と題し、市史に掲載した遺物などを紹介します。詳しくは、広報にしおや岩瀬文庫ホームページでお知らせします。

期間 7月6日(土)～10月6日(日)
場所 岩瀬文庫企画展示室(2階)

『新編西尾市史』発刊記念特別展



牧野日記(個人蔵)

資料や情報をお寄せください
西尾の歴史や文化、風土に関する資料や情報を探しています。今後の市史編さんに役立てますので、市史編さん室にお知らせください。

資料の例

- ・古文書や古い日記
- ・戦前に市内で刊行された雑誌や文集
- ・古い絵画、彫刻、工芸品
- ・地震や高潮など災害に関する資料
- ・西尾にゆかりの深い資料

『新編西尾市史 資料編1 考古』の予約方法

販売開始日 5月30日(木)

代金 5,000円

5月25日(土)(必着)までに、住所・氏名・電話番号・購入方法の希望(受け取りまたは郵送)を、電話またはファクス、Eメールで市史編さん室(☎56・6660/FAX56・2787/shishi@city.nishio.lg.jp/岩瀬文庫内)へ。

直接受け取る方 教育庶務課または幡豆支所、岩瀬文庫、西尾市資料館、塩田体験館、尾崎士郎記念館、一色学びの館のどこで受け取るか、予約時に

教えてください。代金の支払いは受け取り時
郵送で受け取る方 代金を現金書留または郵便振替で市史編さん室(〒445-0847亀沢町480)へ。本は送料着払いで送ります。

その他 ①予約特典として特別展図録の無料引換券を贈呈 ②5月30日(木)以降は左の受け取り場所で販売します。